学校番号	1202

令和５年度　美術科

教科	美術	科目	素描	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・表現及び鑑賞の活動において、美術を形づくっている要素を知覚し、その働きを感じとって表現したり、根拠をもって美術のよさを視覚で表わすことを重視する。
・人間の生活や社会と美術の関わりを意識し、文化的・歴史的背景とともに、美術文化の理解を深める観点から、伝統・文化に関する学習活動の充実を図る。授業の進め方については、表現と鑑賞を並行して扱う。

2　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。
制作から完成の過程で、随時行うプレゼンテーションを踏まえて他者を評価することにより、自他の個性について理解を深める。
物事（現象）の本質をとらえ、言葉に置き換えたうえで絵画等の制作をすることにより、言語と作品を組み合わせてプレゼンテーションする力を育成する.

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子	アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	スケッチブックの表紙	【デザイン】 ・アイデアスケッチ ・制作 条件にしたがって表紙をデザインし、彩色する。	○ ○	○	○		a: 条件の中でテーマに合った表現を考えようとしている b:情報を整理し，的確な形や色を用い、構想を練っている c: 視覚的にわかりやすく美しい形や色を工夫している。	制作の様子 作品
	鉛筆デッサン―教室風景―	【絵画・彫刻】 ・構想を練る ・制作 教室の様子をトリミングし、鉛筆デッサンする ・相互鑑賞	○ ○	○ ○	○ ○	○	a: 思い出のある場所を切り取り表現することに関心を持ち、構想を練ったりしようとしている。 b:現実の風景から、何を表現したいのか主題を生成している。 c: 鉛筆や道具の使い方や構図や明暗など、表現方法について工夫している。 d: 作品を並べ各自、完成までのプロセスやそれぞれ主張したい部分を発表する。また他の生徒のプレゼンを聞き、相互評価をする。	制作の様子 製作途中の作品 作品 鑑賞ワークシート
2学期	アクリル画―静物モチーフ―	【絵画・彫刻】 ・アイデアスケッチ ・制作 組みモチーフをアクリル絵の具で描く ・相互鑑賞	○ ○	○ ○	○	○	a:テーマを基に表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:モチーフをじっくり観察し、表現形式の特性を生かして、形体、色彩、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。 c: 材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追及して表現している。 d: 作品を並べ各自、完成までのプロセスやそれぞれ主張したい部分を発表する。また他の生徒のプレゼンを聞き、相互評価をする。	制作の様子 製作途中の作品 作品 鑑賞ワークシート

2学期	モビールをつくろう	【絵画・彫刻】【デザイン】 ・アイデアスケッチ ・制作 テーマに合ったかたちを考え、モビールを制作する	 ○ ○	 ○	 ○		a:自らテーマを設定し、表現の工夫をしようとする意欲がある。 b: テーマを基に感性や想像力を働かせて、自己の内面を見つめて感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、表現形式の特性を生かして、形体、色彩、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。 c: 意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追及して表現している。	制作の様子 製作途中の作品 作品
3学期	テーマ絵画	【絵画・彫刻】【鑑賞】 ・自己の内面や取り巻く状況などから主題を生成する。 ・主題を基に構想を練る。 ・構想を基に自分の表現意図に合う表現方法を工夫する。 ・主題を追及し、表現を深める。 ・他者の作品から、作者の主題、意図、創造的な表現の工夫などを感じ取り、理解する。	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ 	 ○	a:テーマを基に自己の内面を見つめて表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:テーマを基に感性や想像力を働かせて、自己の内面を見つめて感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、表現形式の特性を生かして、形体、色彩、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。 c:意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追及して表現している。 d:他の生徒の作品などのよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、作品などについて理解を深めている。	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 鑑賞活動の様子や発言内容 作品

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。